

令和4年度第65回岩美町立岩美中学校入学式

告 辞

本日ここに希望に燃える新入生を迎え、令和4年度の入学式が整然と挙行されますことを心からお慶び申し上げます。新型コロナウイルス感染症対応のため、卒業証書授与式に続きこのような特別な入学式になることをお詫びいたします。

78名の新入生の皆さん、ご入学おめでとう。

皆さんは、今日から中学生であります。中学校の3年間は、皆さんの人間形成に大きな意味を持ちます。そして、「将来の進むべき道を選択する力」を身に付ける重要な時期です。

また、中学校生活では、「命の尊さ」を基礎とした「自立の心」や「感謝の心」「困難に挑戦する心」や「感動する心」といった自分の「心」をどう育てるかということをし、しっかりと学んでいただきたいと思います。そして、一人ひとりがお互いをよく理解し、確かな判断力を持って、毅然たる態度や勇気ある行動をとっていただきますようお願いいたします。

2年生、3年生の皆さん。皆さんは先日卒業していった3年生の姿を胸に、それぞれ進級し、学業や部活動のリーダーとしての役割を担うと思います。

昨年度末の卒業生の答辞の一説に次のような言葉がありました。「山陰海岸ジオパークの学習では、岩美町に生きる者としての責任を・・・」「SDGsの学習では、未来を背負う責任者の一人として・・・」など、中学校3年間で学ぶ学習の意義や自覚を堂々と述べていました。この先輩のように、しっかりと考え、活動してくれることを、卒業生の一員としてとても楽しみにしています。頑張ってください。

新入生の皆さん、今は、希望と不安の入り交じった気持ちであろうと思いますが、このように君たちを支える立派な先輩達があります。今後、新入生の皆さんが、先輩方の築いたこの岩美中学校を受け継ぎ、さらに明るく楽しい学校生活にするよう期待しています。

保護者の皆様、お子さまのご入学を心よりお慶び申し上げます。

本日より前期中等教育がスタートします。これからの教育は、子どもたちに「知識・技能」の習得はもちろん、「思考力、判断力、表現力」や「学びに向かう力（意欲）」を育むことが、大変重要となっています。そして、このことを実現させるためには、教育を学校だけに任せるのではなく、家庭と地域社会がそれぞれの役割を果たし、学校と協力しあって進めていかなければならないと考えております。

特に、「第二の誕生」ともいえる思春期の人間形成に対して、家庭が果たすべき役割はとても重要です。また、「中学校生活はスマホなど電子機器との付き合い方で決まる」と言われています。デジタルネイティブ世代の子どもたちです。ゲームやスマホなどの電子機器とのつきあい方や管理はもちろん、社会を視る価値観の育成など、しっかりと子どもさんを見つめていただき、その上で、格別のご協力をいただきますようお願いいたします。

学校におかれましては、職員組織も新たになり、新年度の方針のもと、スタートされたことと思います。教育者としての崇高な教育理念のもとに、大きな包容力と深い愛情を持って、子どもたちの教育にあたり、家庭と地域社会の信頼と期待に応えてくださいますよう、格別のご努力をお願いします。

結びに、新入生と本校教育のますます活躍と進展を祈念して、告辞いたします。



令和4年4月8日

岩美町教育委員会 教育長 大西 泰博